受験番号							
M							

令和９年度
広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験
【博士課程前期】（９月入試）

専　門　科　目

教育科学専攻　教授学習科学プログラム
教授創成科学コース　健康スポーツ教育学分野

令和８年９月９日

自　９時００分
至１２時００分

受験上の注意事項
１．すべてのページに受験番号を記入してください。
２．配付した問題用紙は持ち帰ってはいけません。
３．配付した問題用紙は，表紙を含めて４ページです。
４．問題１～問題６は，「分野共通問題」です。全員が全問を解答してください。
５．解答用紙の紙面が不足する場合，各解答用紙の裏面を用いてもかまいません。その際には，裏面を使用したことを明記してください。

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム コース・分野	教育科学専攻 教授学習科学プログラム 教授創成科学コース・健康スポーツ教育学分野

受　験　番　号							
M							

1. 無酸素性作業閾値の意味と活用の方法について述べなさい。

2. 近代スポーツは，どのような歴史的背景のもとで成立し，学校教育に取り入れられてきたのか。その特徴と教育的役割について説明しなさい。さらに，現代のスポーツの多様化を踏まえ，これからの学校体育における学びや指導の可能性について，具体例を挙げて論じなさい。

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム コース・分野	教育科学専攻 教授学習科学プログラム 教授創成科学コース・健康スポーツ教育学分野

受験番号							
M							

3. トレーニング内容とパフォーマンス変動の関係を示した代表的なモデルの一つに，フィットネス―疲労理論がある。このモデルについて説明しなさい。また，このモデルに基づいたトレーニング計画について，１つのスポーツ競技を取り上げ，説明しなさい。

4. 中学校の創作ダンスのグループ活動で，経験者が動きを決め，経験の少ない生徒はまねるだけとなり，活動を控える生徒もいた。
すべての生徒が動く楽しさを感じ，主体的に参加できるよう，導入を含む具体的な活動内容と指導上の工夫を述べなさい。

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム コース・分野	教育科学専攻 教授学習科学プログラム 教授創成科学コース・健康スポーツ教育学分野

受験番号								
M								

5.　高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）に示されている保健体育の目標について，「育成することを目指す資質・能力」にも触れながら説明しなさい。

6.　「協働的な学び」を重視した体育授業のあり方について，授業設計や学習評価にも触れながら論じなさい。